

ウポポイ  
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間

令和4年5月31日

くちよろがわ

## 久著呂川湿原流入部の土砂調整地（釧路湿原自然再生事業）

### 土木学会北海道支部 技術賞を受賞

～釧路湿原へ流入する土砂を軽減～

釧路湿原自然再生事業「久著呂川湿原流入部土砂調整地」が5月18日に公益社団法人 土木学会北海道支部から、技術賞の表彰を受けましたので、お知らせします。

久著呂川湿原流入部土砂調整地は、釧路湿原へ流入する土砂の軽減を目的に、平成21年に着手し、令和元年度に完成した土砂の捕捉施設です。

釧路湿原の自然環境や景観に配慮して、木材等の自然素材を活用し、軟弱地盤にも対応した施工性と安定性を確保した工法が評価され、受賞となりました。

久著呂川では、自然再生推進法に基づき国や北海道、鶴居村等が協働して土砂流入対策を実施しており、釧路湿原自然再生の効果が期待されます。

引き続き、釧路湿原自然再生および釧路川水系流域治水対策を進めて参ります。

#### 【参考】

○ 土木学会北海道支部技術賞とは

「公益社団法人土木学会北海道支部」が行う表彰で、「北海道内において、土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められるすぐれた技術」に授与される賞です。詳しくは公益社団法人土木学会北海道支部のホームページをご覧ください。

[https://www.jsce.or.jp/branch/hokkaido/\\_contents/com/R03.htm](https://www.jsce.or.jp/branch/hokkaido/_contents/com/R03.htm)

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

治水課 治水課長 市川 嘉輝 電話：0154-24-7250（内線 3291）

治水課 上席治水専門官 佐藤 豪 電話：0154-24-7250（内線 3296）

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



# ③ 将来の効果[右岸調整地設置後の効果算定]

◆ 右岸土砂調整地の修正計画の概要および、堆積厚分布のシミュレーション結果を示す。

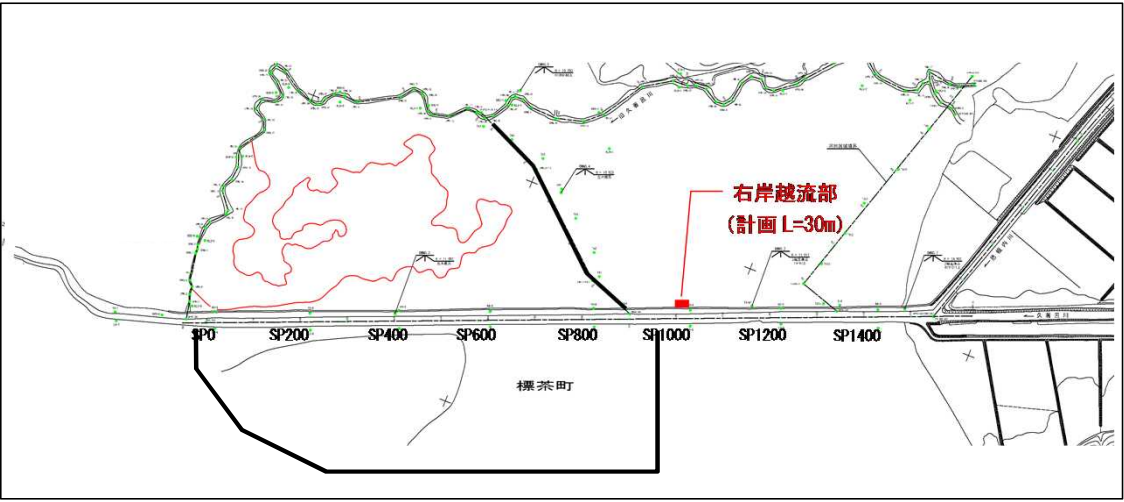
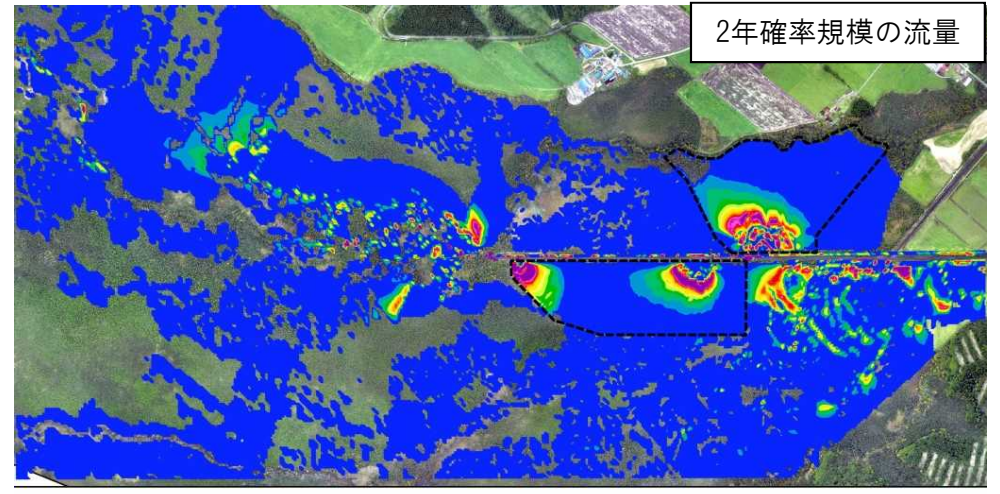


図1 右岸土砂調整地 計画平面図



2年確率規模の流量

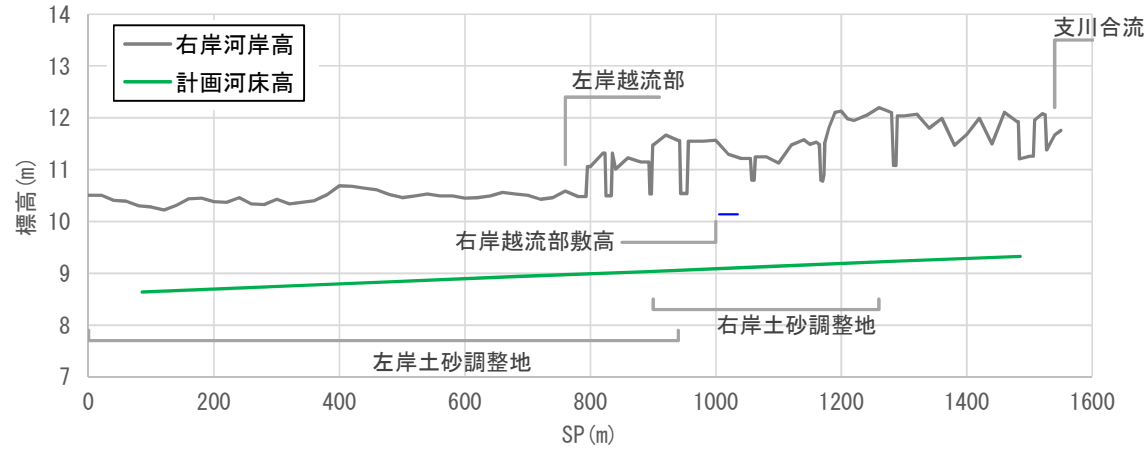
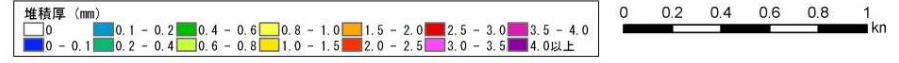
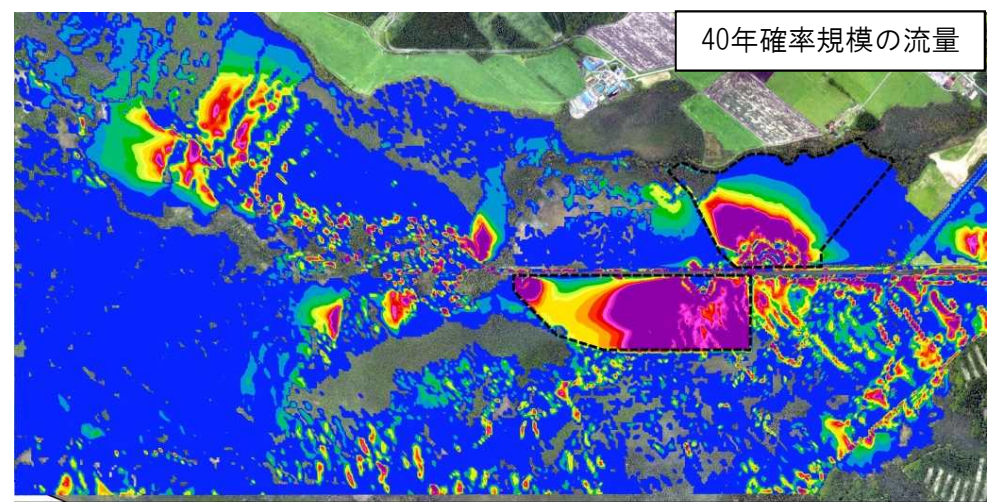


図2 右岸土砂調整地 計画縦断図



40年確率規模の流量

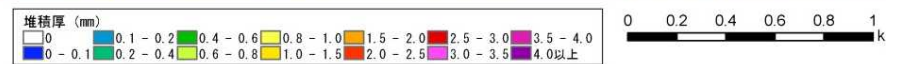
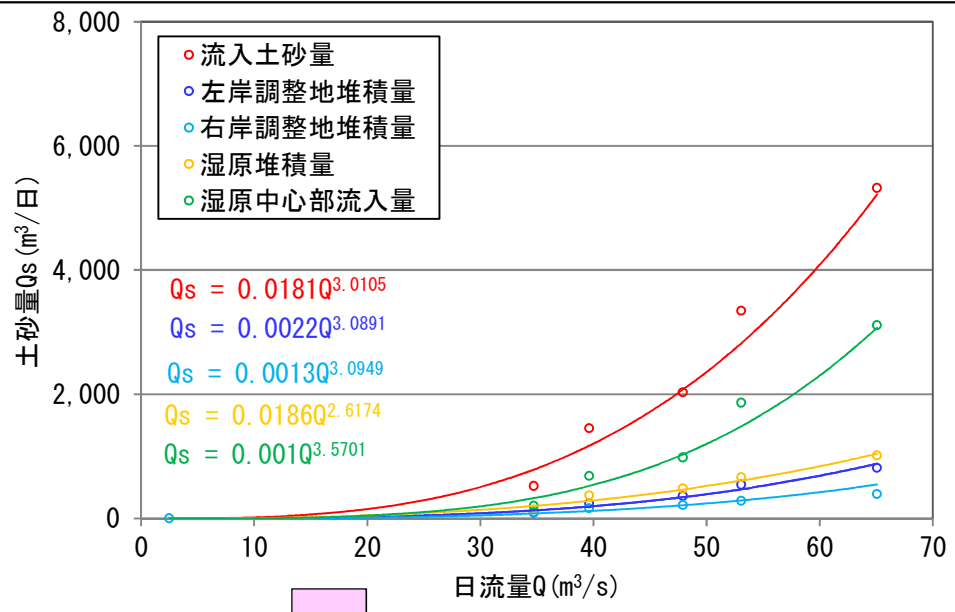


図3 堆積厚分布平面図 (計算結果)  
上段：2年確率規模、下段：40年確率規模

# ③ 将来の効果[右岸調整地設置後の効果算定]

◆ 右岸土砂調整地の修正計画による軽減効果（流域対策を考慮）は、左右岸の土砂調整地の効果を合わせると、目標とした4割の土砂軽減効果が期待できる結果となった。



• 対象とした5出水のシミュレーション結果により、流量と堆積土砂量の関係を整理して、回帰式を作成

図1 日流量 $Q$ と各土砂量 $Q_s$ との関係（流域対策後）

表1 土砂軽減効果の算定

		流入土砂量 (m³)	土砂調整地 堆積土砂量 (m³)	【A】 湿原(計算範囲) 堆積土砂量 <sup>※1</sup> (m³)	【B】 湿原中心部 流入土砂量 <sup>※2</sup> (m³)
事業 実施後	15カ年合計値	36,800	9,300	11,000	16,500
	年平均値	2,450	620	730	1,100

	【C】 事業実施前 湿原流入土砂量 <sup>※3</sup> (m³)	【D】 事業実施後 湿原流入土砂量 <sup>※3</sup> (【A】+【B】) (m³)	【E】 湿原堆積土砂 軽減量 (【C】-【D】) (m³)	【F】 軽減割合 【E】/【C】
年平均値	3,140	1,830	1,310	<b>0.42</b>

(15ヶ年分の流量を回帰式に適用)

※1 シミュレーションにおいて、計算範囲のうち土砂調整地外に堆積する土砂量  
 ※2 シミュレーションにおいて、計算範囲外（より湿原中心部）に流入する土砂量  
 ※3 ※1と※2を合わせた土砂量